

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

美浜町地域公共交通会議

平成21年7月27日設置

フィーダー系統 平成28年5月30日 確保維持計画策定

○第5次美浜町総合振興計画による指標・目標：全体

指標名	単位	平成26年度 (実績)	平成32年度 (目標)
コミュニティバスの利用者数	人	22,000	26,000 (定期便+予約便)
JR美浜駅 1日平均乗車人数	人	230	260

○地域公共交通確保維持事業の定量的な目標：コミュニティバス予約便（補助対象事業分）

■目標設定：対前年比約1割増

路線	項目	H27実績	目標		
			H29年度	H30年度	H31年度
丹生線	年間利用者数	1,982人	2,450人	2,680人	2,910人
	乗合率	2.2人	2.4人	2.5人	2.6人
日向線	年間利用者数	1,985人	2,420人	2,640人	2,860人
	乗合率	1.9人	2.1人	2.2人	2.3人
新庄線	年間利用者数	1,268人	1,530人	1,660人	1,790人
	乗合率	1.8人	2.0人	2.1人	2.2人

○コミュニティバス

運行本数の増便：利用者の増加を図る取組として、特に利用者の少ない昼間の時間帯においてデマンド化の導入を行い、運行本数の増便

バス停の増設：町内の病院、医院の周辺、居宅介護施設、観光地、集落内にバス停を増設

定期券等の拡大：65歳以上の方向けの定期券、500円（ワンコイン）での回数券(6枚)を新設

運賃免除の拡大：障がい者の方の運賃免除の範囲の拡大
介助者運賃の免除

啓発活動：利用案内、時刻表のチラシを町内全戸に配布
広報やホームページによる周知
出前講座の実施（老人クラブ大会）
マイ時刻表の作成



乗車体験：介護予防自主活動グループに対する利用案内、乗車体験の実施

○JR小浜線

助成制度の新設：シニア利用者に対しての助成制度の新設

広報等による周知：助成制度について、広報やホームページで周知

○福鉄バス（路線バス）

路線の変更：病院や高校を経由する運行への検討（H29.10.1実施）

○コミュニティバス

路線	項目	目標	H29実績	達成状況
丹生線	年間利用者数	2,450人	1,879人	未達成
	乗合率	2.4人	1.8人	未達成
日向線	年間利用者数	2,420人	1,492人	未達成
	乗合率	2.1人	1.8人	未達成
新庄線	年間利用者数	1,530人	1,036人	未達成
	乗合率	2.0人	1.5人	未達成

○J R小浜線

指標名	目標 平成32年度	平成27年度	平成28年度
J R美浜駅 1日平均乗車人員	260人	275人	282人

- 丹生線においては、台風の影響により観光客の利用が減少した。
- 日向線、新庄線においては、固定客の利用が減少した。（人口減少、少子化による学生の減少、高齢者の免許証所有率の増加）
- バス停の増設や介助者の運賃免除を行い、利用促進を図ったが増加には至らなかった。
- J R小浜線においては、学生の利用が増えた。

○今後の方針

- コミュニティバスの利用機会の促進を図る。（イベント時の利用促進等）
- 高齢者への普及啓発が必要であるため、老人クラブ高齢者支援センターと連携し利用促進を図る

○目標の達成状況に関する課題

- 公共交通に関する町民への意識向上
- デマンド便への理解と利用促進
- 公共交通機関への利用機会の増加

○対応方針

- 公共交通に関する意識向上
 - ・広報やホームページにより継続的に周知を図る。
- デマンド便への理解と利用促進
 - ・老人クラブや高齢者支援センターと連携し出前講座等により普及啓発を行う。
- 公共交通への利用機会の増加
 - ・観光用のモデルコースを作成し啓発する。
 - ・イベント時のコミュニティバス無料券の配布を行う。
 - ・小中学校、保育園の校外学習等におけるコミュニティバスの利用促進を図る。

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

美浜町地域公共交通会議

平成21年7月27日設置

フィーダー系統 平成28年5月30日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
なし		

- コミュニティバスの案内や時刻表、路線図のチラシの全戸配布の実施
- バス停の増設
 - ・ 小規模多機能型居宅介護施設周辺の設置 3箇所
 - ・ 観光地（海水浴場）への設置 1箇所
- 障がい者と乗降する介助者の運賃免除
- 老人クラブ大会での啓発活動
- 介護予防自主活動グループに対する利用案内と乗車体験の実施
役場福祉課との連携事業

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 美浜町地域公共交通会議

評価対象事業名: 美浜町地域内フィーダー系統確保維持計画

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
美浜自動車株式会社	系統名:丹生線 運行区間:丹生～美方病院		A 計画どおり適切に事業が実施された。	C 目標人数2,450人に対し1,879人、乗合率2.4人に対し1.8人であった。例年夏の海水浴客の利用が多いが、今年度は台風の影響により利用客が減少したと思われる。	観光客の利用状況により増減しているため、JRや幹線バスの乗り継ぎの周知を行っていく。 ホームページにおいても観光のモデルコース等を掲載し周知を行っていく。
	系統名:日向線 運行区間:日向～美方病院		A 計画どおり適切に事業が実施された。	C 目標人数2,420人に対し1,492人、乗合率2.1人に対し1.8人であった。まだ電話予約に対する抵抗があると思われる。病院や買い物に行く固定の利用者の減による影響があると思われる。	住民ニーズの把握に努め、利便性の向上が図られるようにする。病院や買い物、美浜駅の利用者に公共交通を利用していただけるように周知していく。
	系統名:新庄線 運行区間:新庄～美方病院		A 計画どおり適切に事業が実施された。	C 目標人数1,530人に対し1,036人、乗合率2.0人に対し1.5人であった。まだ電話予約に対する抵抗があると思われる。病院や買い物に行く固定の利用者の減による影響があると思われる。	住民ニーズの把握に努め、利便性の向上が図られるようにする。高齢者の利用促進を図るよう、老人クラブ等と連携し啓発活動を通して周知していく。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	美浜町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>平成23年度に「美浜町都市計画マスタープラン」を策定し、公共交通の強化・充実に取り組んでいる。住民の生活を支える貴重な交通手段として、JR小浜線とコミュニティバスの利便性の向上を図ることとし、JR美浜駅の環境整備を実施しアクセス性を高めるとともに、コミュニティバスのサービス水準の維持に努めている。</p> <p>平成27年度に策定された「第5次美浜町総合振興計画」においては、JR小浜線や路線バスの乗客減少に歯止めをかけるため、乗る運動を展開して住民の意識高揚を図り、人々が集い交流する機会を広げ、各集落をつなぐ手段としてコミュニティバスの利活用を促進している。また、今後は、平成34年に予定されている北陸新幹線の敦賀駅開業を控え、県や嶺南市町と連携しながら、JR小浜線のさらなる利用促進を図っていく。</p>